

2017年 7 月20日

No. 6 0 4

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発 行 人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
電 話 (024) 573-0515
F A X (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
anteil@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 伊 藤 純 一
印刷所 (株) 第 一 印 刷

最高位の名誉賞を受賞する

平成29年 7 月 7 日に東京都中央卸売市場食肉市場において、第19回全農肉牛枝肉共励会が開催されました。この共励会は、全農グループの肉用牛肥育技術の確立と枝肉の品質向上および経済性の追求に資することを目的にJA全農が主催で、全国17都府県から和牛去勢193頭、和牛雌75頭、交雑種32頭の合計300頭が出品され、東京都中央卸売市場食肉市場で開催される数多くの共励会の中でも1、2を争う大規模な共励会です。

この共励会で最高位である名誉賞を受賞したのは、本県から出品したJAふくしま未来の鈴木廣直さんの和牛去勢で、格付A 5、枝肉重量616kg、枝肉単価10,085円/kg で取引されました。さらに、この名誉賞の牛は29 ヲ月齢で、BMS No.12、ロース芯面積128cm²、ばら厚11.2cm、皮下脂肪2.0cmでした。

この素牛は、2 年前に福島県家畜市場での購買で、血統は父「隆之国」母の父「百合茂」母の祖父「安福久」でした。

この他に、本県関係では、和牛去勢で遠藤好夫さん（JA会津よつば）が最優秀賞、(株)五十嵐ファーム（JA会津よつば）が優秀賞、上野広行さん（JAふくしま未来）が優秀賞をそれぞれ上位受賞いたしました。



名誉賞受賞の枝肉と鈴木廣直さん



セリ市場 落札

(敬称略)

部 門	褒 賞	J A 名	氏 名
和牛去勢	名 誉 賞	ふくしま未来	鈴木 廣直
和牛去勢	最優秀賞	会津よつば	遠藤 好夫
和牛去勢	優 秀 賞	会津よつば	(株)五十嵐ファーム
和牛去勢	優 秀 賞	ふくしま未来	上野 広行



就任のごあいさつ

専務理事 伊藤 純一

このたび、6月29日付けで専務理事に就任いたしました。

皆様方には県に在職していたときからたいへんお世話になり心から御礼申し上げますとともに引き続きよろしくお願い致します。

今年度は、9月に全国和牛能力共進会が、10月に東京食肉市場まつりが開催されるなど福島県の畜産を大いにアピールする重要な年であります。

すでに7月に開催された全国規模の肉用牛枝肉共励会で本県産去勢牛が日本一となる名誉賞を獲得したのをはじめ福島牛が上位を独占したことは、全共へ向け大きな期待と励みになっております。

また、6月には猪苗代町営磐梯山牧場が6年ぶりに放牧を再開、7月の県家畜市場の和牛セリでは肉用牛大規模繁殖農場で生産した子牛が初出荷されるなど明るい話題、新しい畜産の形が見えつつあります。

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故に

よる風評が払拭することなく本県畜産農家は大きな苦痛を受け続けておりますが、品質のよい畜産物を安定的に生産することにより福島ブランドを確立し、正当な評価が得られることを心より願っており、私も最大限の努力をしております。

一方では、EUとのEPA（経済連携協定）交渉が大枠合意したことにより畜産業に大きな打撃を受けることが懸念されることから国は徹底した対策を講じる必要があり、特に本県は大震災からの復興再生に水を差されることのないよう、きめ細やかなしっかりとした支援策が求められます。

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックにおいて福島県の畜産の復興を世界に示すことができますよう、関係機関・団体の皆様と連携協力して各種業務を着実に進めて参りますので、一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げ就任のあいさつといたします。



きれいな空気、きれいな水、そして新しい鉱塩。

動物用医薬品 ビタミンE・セレン配合ミネラル固型塩

鉱塩® E250 TZ

動物 未来 みつめる ひろがる



ZENOAQ

動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

URL : www.zenoaq.jp

肉用子牛のための「強化」哺育専用代用乳」ができました!!

カーボップEX ブラック

“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL：0243-33-1101(代)

第30回福島県牛削蹄競技大会を開催 ～上位3名が東北大会へ～

福島県装削蹄師会

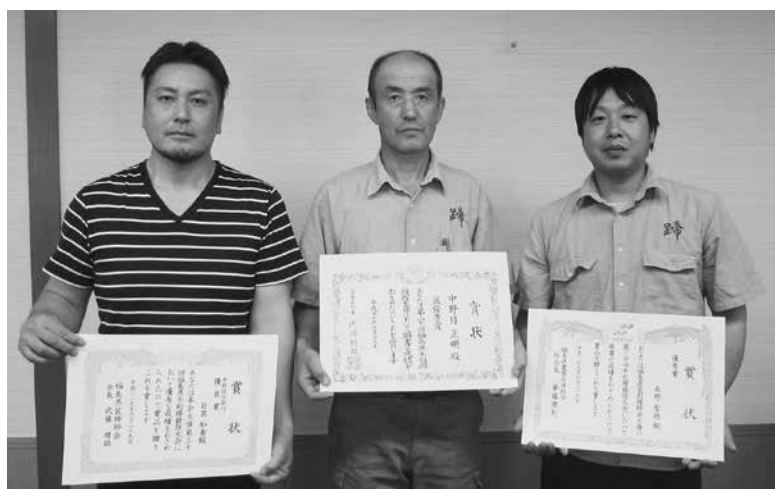
福島県装削蹄師会（武藤靖雄会長）主催の「第30回福島県牛削蹄競技大会」が、平成29年6月29日に、二本松市岳温泉横森の（有）エム牧場岳支場で開催されました。本競技大会は、乳牛及び肉用牛の能力増進に資すると共に認定牛削蹄師の牛削蹄技術の向上と、第29回東北地区牛削蹄競技大会の県予選を兼ねており、県内から5名の選手が出場しました。神奈川県牛削蹄師会所属で指導級認定牛削蹄師の小出広春氏を審査委員長に迎え、選手たちは牛削蹄判断競技及び牛削蹄競技（単独保定部門）の競技に臨みました。

最優秀賞には、石川支部の中野目正明さん、優秀賞は安達支部の高野智徳さん、優良賞は田村支部の目黒知希さんが受賞し、3名は東北大会への出場権を獲得しました。今回、東北大会出場を決めた3名のうち、中野目さん、高野

さんは全国大会出場経験を持つ実力派、目黒さんは期待の新人として、8月22日（火）山形県新庄市で開催される東北大会での活躍が期待されます。

また、オープン参加で11名が競技に挑みました。自分たちの削蹄技術のレベルを知る絶好の機会とあって、北海道、秋田県、山形県、千葉県、大阪府、島根県から参加があり、オープン参加の部では大阪府の小川和孝さんが1位を獲得されました。

翌日は、競技大会の会場となった（有）エム牧場岳支場で研修会が開かれ、大会の上位3名が前日の判断牛を実際に削蹄し、その判断結果と照合してディスカッションし、東北大会へ向けさらなる競技力向上を目指しました。さらに、他の参加者も供試牛を用いて技術研鑽を行い、東北大会、全国大会での健闘を誓っていました。



写真は左から目黒さん、中野目さん、高野さん

御用命は

- ◎牛用・豚用・鶏用
各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
☎（〇二四三）六三一・二四八八

小田島商事株式会社
福島市鎌田字御町十一の四
☎（〇二四）五五三一・六六七八

日本全業工業株式会社
福島営業所
郡山市安積町笹川字平の上一一
☎（〇二四）九四五一・三三〇六

株式会社アグロジャパン
福島営業部
福島市南中央三丁目五一
☎（〇二四）五二六・七三〇三

日新殖産株式会社
伊達市梁川町字東塩野川一五一一
☎（〇二四）五七七・三二二二

株式会社アスコ
本宮市本宮字下台18-12
☎（〇二四三）六三二・二四八八

『動物用医薬品は、
正しく使用し、
休薬期間を
厳守しましょう』

第8回ジュニアショーを開催!!

福島県ホルスタイン改良同志会

平成29年6月16日（金）、福島県ホルスタイン改良同志会（以下、同志会）主催のもと、第8回ジュニアショーが開催されました。今年は福島県家畜市場で行われ、会場には多くの参加者・関係者が集まりました。また、岩瀬農業高等学校と福島県農業短期大学の学生が、研修の場として参加・学習されました。

ショーの審査員は、同志会顧問でもある磐梯町の酪農家足利秀忠氏に務めていただきました。

ショーは生後8カ月未満と、8カ月以上12カ月未満の2部門で行われ、全17頭が出品されました。出品者はそれぞれ真剣な様子でショーに臨んでいました。

結果については、第1部は滝根町の白土達也さん出品のホワイトヒル クラツシユ ビスタ ロキシー号が、第2部も滝根町の白土達也さん出品のホワイトヒル GW ビーマーロキシー号が、優等賞を獲得しました。

また今回、新しい試みとして参加者・関係者による入賞牛の予想投票も行われ、適中者には景品が贈呈されました。中には1～3等全てを適中させる学生もあり、良い研修の機会になったと思われます。

ショーは大盛況のうちに閉会となり、改良への更なる意気込みが感じられる大会となりました。



会長あいさつ



1部優等賞



審査員



2部優等賞



審査中

●品質と信頼の●



JA全農北日本くみあい飼料株式会社

くみあい配合飼料

本社 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
〒983-0045 TEL (022) 792-8040(代)

南東北支店 福島営業所 郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
〒963-0725 TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827

除染更新後の水田における放牧試験の取り組みについて

福島県農業総合センター畜産研究所 飼料環境科

はじめに

放牧は、牛の飼養管理を行ううえでコスト低減や労力軽減につながる有効な手法であるとともに、農地の活用方法としても有効な方法の一つです。しかしながら、東日本大震災に伴う原子力発電所事故以降、牧草の利用が制限され、それに伴い放牧についても制限が続いている状況にあります。

現在は、除染（草地更新）を行った牧草地については、県によるモニタリング検査を行い、暫定許容値（100Bq/kg（水分80%補正值））を下回れば、採草地と同様に放牧についても利用が可能となっていますが、水田における放牧については、畦畔の除染が行われていないため、畦畔草の採食防止対策を行う必要があります。また、牛が放牧地の土壌を摂取する可能性があり、土壌の放射性セシウム濃度は牧草に比べて高いことから、牛体内への影響を把握する必要があります。このため、これらの課題を解決すべく、畜産研究所では昨年度から現地試験に取り組んでいます。



日よけ施設で休息する放牧牛（田村市）



水田放牧の様子（飯舘村）

試験の概要

平成28年度は、県内2地区（田村市都路町、飯舘村松塚）の除染済みの水田において、畦畔を防草シートで覆った区と畦畔を削り取り圃場内に散布または埋設した区を設け、施肥・播種及び電気牧柵の設置等、放牧地の整備を行いました。また、歩行型放射能測定システム（KURAMA-II）により土壌表面汚染密度指数（DIFF値）を測定し、畦畔除去によりDIFF値が減少することを確認しました。

今年度は、田村市が5月18日、飯舘村が6月7日に、各市村・各区毎に黒毛和種の雌牛3頭ずつ計12頭を放牧しました。現在、月1回、牛血液、牧草及び土壌を採取し、放射性セシウム濃度やミネラル成分の経時的変化等を確認しています。

今後、2ヶ月以上を目標に放牧を行い、その試験結果を踏まえ、安全に放牧できる技術として確立していきたいと考えています。

なお、本試験は、各市村の協力農家、一般社団法人日本草地畜産種子協会、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構畜産研究部門及び県関係機関の協力のもと、耕起困難草地等利用再開技術確立調査事業（JRA（日本中央競馬会）助成）により実施しているものです。

福島の大自然とみつばちからの恵み



天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地（福島県畜産振興協会内）

TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容と健康に
おこづい
はちみつはいかが！

平成29年度 第1回通常総会開催

公益社団法人福島県畜産振興協会

平成29年6月29日福島市「県土地改良会館」において、本協会の平成29年度第1回通常総会が開催されました。

宗像実会長の挨拶の後、家畜自衛防疫の推進により、家畜伝染病疾病の予防に関して著しい功績があった【白河地方自衛防疫推進協議会】前指定獣医師の塩手道範様と【いわき家畜衛生推進協議会】前指定獣医師の橋本博様に感謝状が授与されました。

提出された議案は、議案第1号平成28年度事業報告書及び財務諸表の承認の件、議案第2号役員を選任の件は、全会一致により原案どおり承認されました。

また、通常総会終了後、役員会が開催され、会長、副会長、専務理事の選任が行われ、右表のとおり役員が決まりました。

役職名	氏名	役職名	氏名
会 長	宗像 実	理 事	浦山 良雄
副会長	結城 政美	理 事	須藤 一夫
同	菅野 典雄	理 事	猪股 孝二
専務理事	伊藤 純一	理 事	岡部喜市郎
理 事	佐藤 清丸	理 事	齋藤 勝利
理 事	新野 洋	監 事	押山 利一
理 事	大樂 勝弘	監 事	岡 正宏

協会としましては、畜産関係団体、国、県、市町村はもとより生産者と一体となって、引き続き、経営安定対策、家畜衛生対策、価格安定対策及び家畜改良事業等に取り組み、皆様のご期待に応えられるよう役職員一丸となって努力して参りますので、ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

福島県酪農業協同組合 第24回通常総会開催

第24回通常総会は、6月24日に郡山市日和田町の福島県農業総合センターにおいて開催されました。

総会開催に先立ち福島県酪農青年研究連盟の佐藤正仁会長の発声のもと、出席者全員により、酪農ビジョンスローガンの唱和を行いました。

宗像 実代表理事組合長が、今年度は大過なく事業年度を終えることができたことに対し、組合員のご理解、ご協力に感謝を申し上げます。

アメリカのTPP協定離脱による協定発効困難状況からの日米2国間貿易交渉、日EU・EPA交渉の今後の動向に懸念があり、日本農業崩壊の危機的状況にならぬよう死守していかなければならない。

第6次中期3カ年計画である安達事業所の廃止、田村事業所と小野事業所統合については計画に沿って達成することができました。ここまでの過程における地元組合員の苦渋の決断、ご理解、ご協力に深く感謝申し上げます。

29年度は第6次中期経営3カ年計画の推進、第7次中期経営3カ年計画策定、原発事故からの復興支援を行うこと、生産乳量の前年比100%を目指すことを大きな目標にしていくことを述べ、組合発展のために来賓の皆様のご指導、組合員の協力が必要であり、お願いしたいと挨拶。

来賓の県中農林事務所長 桃井栄一様（県農林水産部長代理）、全酪連仙台支所長 佐藤

弘様（全酪連会長代理）、東北生乳販売農業協同組合連合会代表理事専務 高橋雅典様（会長代理）、福島県農業会議代表理事会長 太田豊秋様より祝辞をいただきました。

議長には県北支所の武藤健之氏が選任され、付帯決議を含めた8議案について上程され、全議案が可決承認されました。通常総会時正組合員301名、本人出席73名、書面議決書185名、委任状5名で合計263名の出席、准組合員6名の出席があり、盛会に通常総会を終了することができました。

通常総会の席において表彰されました購買事業系統利用上位組合員、セリ市場販売価格上位組合員、乳質改善優良組合員・支所、特別表彰、職員永年勤続を受賞された方々に対し、常日頃の努力、活動に対し敬意を表します。おめでとうございました。



うつくしま福島畜産mother'sクラブ e-EN 平成29年度総会を開催

平成29年7月3日(月) 会津若松市「(株)山際食彩工房」において平成29年度総会を開催し、提出しました議案、平成28年度活動報告及び収支決算、平成29年度活動計画及び収支予算及び役員改選については、全て承認を得ましたのでご報告いたします。

今年度は福島県農産振興事業「ふくしまの恵みPR支援事業」を活用し、マザーズシチューとおもてなしカレーのPR活動の充実と、独自事業として引続き食育活動の実施、初セリ牛鍋イベントを実施します。

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、新しく2名の役員に加え、会長及び副会長らが再任となりました。木目澤久實子会長からは、今まで同様に皆様のご協力の下、各行事を実施して参りますのでご支援、ご協力をお願いしたいと挨拶されました。

会 長	木目澤 久實子	酪 農
副会長	先 崎 幸 江	肉用牛肥育
副会長	深 澤 ナ ッ	肉用牛肥育
副会長	阿 部 フミ子	酪 農

～畜産現場における女性の活躍推進事業を実施～

(公社) 福島県畜産振興協会

畜産現場における女性の活躍推進事業（畜産経営における女子力発揮推進事業）を活用し、下記行事を実施しました。

5月22日、食育講座の体験と視察研修及び意見交換会を目的に山形県上山市「山川牧場」を13名の畜産女子メンバー等で視察研修しました。

自らを「悪い酪農家」と名乗る代表取締役の山川喜市氏を講師に、バター作りの実践、食育の講話や体験を通した子供たちの反応についてお話を伺いました。教育ファームを通して子供たちの生きる力を育む姿に触れ、有意義な視察研修を実施することができました。

参加者からは、「改めて畜産という仕事を振り返り、自

分たちの食育活動として、どう生かしていくか考える良い機会になった。」と話していました。

5月26日には、畜産女子メンバーで元婦人警官の自称悪い畜産農家佐久間尚美さんが、先の視察研修を生かし、県立船引高等学校2年生を対象に「畜産農家が考える命の大切さ」と題した食育及び畜産業についての講演を行いました。

7月3日、会津若松市（株）山際食彩工房にて、山際博美代表を講師に、6次化商品モデル試作加工実習及び検討会を実施しました。

昨年度試作した加工品を様々な容器へ充填する実習や、商品へ加工する際のアドバイスを頂きました。



5月22日、山川牧場視察研修の様子



5月26日、船引高校で講演する佐久間さん



7月3日、試作加工実習・検討会の様子



家 畜 取 引 状 況 報 告

平成29年 4～6 月 和牛子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	性別	頭 数 (頭)	取引価格 (円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販 売 先	
			最 高	最 低	平 均				県 内	県 外
4	雌	333	1,436,400	398,520	767,919	287	2,679	285	126	207
	雄	0								
	去勢	478	1,386,720	561,600	883,917	311	2,841	277	205	273
	計	811	1,436,400	398,520	836,288	301	2,774	280	331	480
5	雌	346	1,441,800	243,000	786,955	293	2,685	288	154	192
	雄	1	630,720	630,720	630,720	301	2,095	286		1
	去勢	479	1,306,800	22,680	866,622	316	2,740	281	175	304
	計	826	1,441,800	22,680	832,965	306	2,716	284	329	497
6	雌	400	1,164,240	383,400	737,019	295	2,498	286	179	221
	雄	0								
	去勢	471	1,394,280	448,200	830,094	316	2,623	278	237	234
	計	871	1,394,280	383,400	787,350	306	2,566	282	416	455

平成29年 4～6 月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

福島県酪農業協同組合

(税込み)

開催月	区分	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)		
				最 高	最 低	平 均
4 第258回	その他	ホル雄	58	210,600	52,920	166,618
		ホルフリー	2	79,920	70,200	75,060
		F ₁ 雌	63	420,120	64,800	290,366
		F ₁ 雄	59	422,280	54,000	368,939
		和牛雌	5	609,120	439,560	561,816
		和牛雄	26	723,600	462,240	636,162
		和牛去勢	0			
		計・平均	213	723,600	52,920	324,994
		ホル雄	51	218,160	73,440	191,118
		ホルフリー	2	68,040	51,840	59,940
5 第259回	その他	F ₁ 雌	67	345,600	97,200	290,262
		F ₁ 雄	80	411,480	156,600	368,523
		和牛雌	6	532,440	382,320	435,420
		和牛雄	24	706,320	379,080	540,135
		和牛去勢	0			
		計・平均	230	706,320	51,840	323,357
		ホル雄	62	198,720	16,200	172,034
		ホルフリー	4	99,360	18,360	75,600
		F ₁ 雌	73	320,760	16,200	243,044
		F ₁ 雄	70	386,640	31,320	330,017
6 第260回	その他	和牛雌	6	563,760	427,680	480,240
		和牛雄	23	666,360	412,560	524,927
		和牛去勢	0			
		計・平均	238	666,360	16,200	280,532

平成29年 4～6 月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最 高	最 低	平 均		
4	乳 登	1	367,200	367,200	367,200	3,035	121
	妊 娠 牛	1	889,920	889,920	889,920		
	E T 和 雌	3	571,320	432,000	514,800	4,966	104
	E T 和 雄	11	726,840	378,000	626,400	6,683	94
	乳 雌 子	2	45,360	5,400	25,380	413	62
	乳 雄 子	20	131,760	5,400	95,094	1,352	70
	乳 去 勢 子	0					
	F ₁ 雌 (育成)	21	478,440	297,000	388,852	1,322	294
	F ₁ 去 (育成)	14	529,200	357,480	453,291	1,368	331
	F ₁ 雌 (スモール)	47	393,120	203,040	296,104	4,150	71
	F ₁ 雄 (スモール)	67	447,120	157,680	377,871	4,923	77
	計・平均	187	889,920	5,400	349,683	3,696	119
5	乳 登	0					
	妊 娠 牛	0					
	E T 和 雌	1	443,880	443,880	443,880	5,549	80
	E T 和 雄	6	697,680	531,360	613,440	6,314	97
	乳 雌 子	0					
	乳 雄 子	31	176,040	43,200	146,915	2,049	72
	乳 去 勢 子	0					
	F ₁ 雌 (育成)	27	420,120	291,600	346,800	1,215	286
	F ₁ 去 (育成)	14	531,360	313,200	451,209	1,406	321
	F ₁ 雌 (スモール)	55	336,960	155,520	274,006	4,075	67
	F ₁ 雄 (スモール)	61	446,040	113,400	367,802	4,906	75
	計・平均	195	697,680	43,200	317,260	3,502	120
6	妊 娠 牛	1	722,520	722,520	722,520		
	E T 和 雌	0					
	E T 和 雄	9	650,160	419,040	573,720	4,998	115
	乳 雌 子	0					
	乳 雄 子	27	176,040	20,520	151,200	1,972	77
	乳 去 勢 子	0					
	F ₁ 雌 (育成)	22	396,360	259,200	350,117	1,219	287
	F ₁ 去 (育成)	20	544,320	388,800	479,250	1,380	347
	F ₁ 雌 (スモール)	61	320,760	151,200	254,526	3,343	76
	F ₁ 雄 (スモール)	63	427,680	209,520	333,960	4,040	83
	計・平均	203	722,520	20,520	314,392	3,010	129

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね

県奨励品種優良牧草・飼料作物種子
福島県畜産振興協会〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
Tel 024-573-0515
Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

(8月)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
ニュートラック 福島			笠松				盛岡	船橋	金				盛岡			浦和					水沢		名古屋		水沢				大井		
		川崎										大井				浦和						川崎								大井	
オーブス磐梯		川崎					船橋				大井					浦和						川崎								大井	

(9月)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
ニュートラック福島	笠松			水沢		名古屋			水沢			大井				盛岡			浦和				盛岡		笠松					
オーブス磐梯	船橋			船橋		川崎			大井							浦和							船橋							

※ 発売日程は、変更になることがあります。

地方競馬の収益金は、畜産の振興や馬に関する伝統行事の保存、街づくり、学校・病院の整備などに役立っています。



地方競馬全国協会

この印刷物は再生紙を使用しています